

令和6年度前期学校評価（7月）結果

八幡浜市立喜須来小学校

学校教育目標	心豊かにたくましく自分を表現する子を育てる
基本方針	『全力つくせ 君が主役だ 喜須来っ子』を合言葉に、自分の考えをしっかりと持ち表現する力、他人の立場を理解しながら自分自身も大切に子どもたちを育てる。心も体も元気で、自信を持って行動できる子どもたちの育成を目指す。 1 まごころの教育をベースとし、児童一人ひとりが「自分らしさ」を大切に、心から自分の気持ちを表現できるよう、愛情を持って指導する。 2 児童が自ら考え、話し合いながら深く学ぶ授業を展開し、自主的に活動し成長する環境を整える。 3 児童の活動を家庭や地域に向けて積極的に発信し、地域社会に貢献する学校作りを目指す。

A…成果が十分上がっている

B…おおむね成果が上がっている

C…あまり成果が上がっていない

D…成果が上がっていない

○ 成果 ● 課題 ☆ 継続点及び改善点

項	評価項目	教諭 評定	保護者 評定	児童評定	成果と課題	継続点及び改善点
確かな学力の定着と向上	個に応じた分かりやすく丁寧な授業ができたか。	A	A	A	○ ICT機器を活用したことで、児童の表現意欲を高めることができた。 ○ デジタル教科書（指導者用）を使えるようになったことで、ICT機器の活用は向上した。 ○ 昨年度に比べ、図書室の貸し出し冊数が増えた。教員の意識の高まりだと考える。 ● 児童は、ICTの操作に慣れてきており、授業でも取り入れやすくなってきたが、教師側が十分指導できるとは言えないため、研修していきたい。	☆ デジタル教科書等ICTツールを活用し、児童の学力向上を図る。 ☆ 読書量や内容は、個人差があるので、2学期に図書委員会の活動や読書週間の取組を工夫する。
	授業中、積極的に挙手し、「自分の考えが言える」児童を育てようと努めているか。	A	—	B		
	児童は家庭学習に自主的に取り組んでいるか。	A	A	A		
	授業の中でICTを効果的に活用できたか。	A	—	—		
	児童は読書活動に取り組んでいるか。	B	C	A		
心の教育の推進	資料や発問を工夫するなどして、考え議論する道徳の充実に努めているか。	B	—	—	○ 友達同士、助け合いながら学習に取り組んだり、生活したりする場面をよく見かける。 ○ 挨拶の声は個人差が大きいですが、挨拶活動週間は、元気に挨拶できる児童が増えてきた。	☆ 児童会主体の挨拶活動習慣を継続する。また、職員が児童に対して率先して挨拶をする。
	心の居場所としての学級づくり、認め合い、支え合う温もりのある人間関係づくりに努めているか。	A	—	—		
	児童は相手に伝わる挨拶ができるようになっているか。	B	B	A		

生徒指導の徹底と健全育成	日記指導や教育相談等を活用して、いじめ・不登校等の早期発見、早期対応、児童との信頼関係づくりに努めているか。	A	A	A	<p>○ オンライン調査ツール「やわたはま元気ノート」を有効に活用して、児童のトラブルについて知ること、解決に向かって話し合うことができた。</p> <p>● 善悪の判断がつきにくい児童がおり、その都度指導を行ったが、なかなか指導が入りにくい。継続して教育相談や声掛けを行いたい。</p>	<p>☆ オンライン調査ツール「やわたはま元気ノート」が児童の人間関係を見つめなおすよいきっかけになっている。入力結果をもとにした教育相談、職員間での情報共有までをきちんと行い、児童の健全育成に努める。</p>
	児童は善悪の判断を身に付け、きまりを守って生活しようとしているか。	A	A	A		
特別支援教育の推進	特別支援教育の推進体制を整え、個に応じた指導や支援の充実ができたか。	A	-	-	<p>○ 支援学級の児童が自分の学級だけでなく、交流学級も自分の居場所と感じられるように、交流学級の先生や児童が温かく関わっている。</p> <p>○ 一人一人の困り感に寄り添いながら、支援することができた。</p>	<p>☆ 支援が必要な児童に対して、適切な支援を充実させる。</p>
	特別支援教育について家庭・地域への啓発を積極的に進めているか。	A	-	-		
健康安全教育の充実	「早寝・早起き・朝ごはん」など、正しい生活習慣の定着に努めているか。	A	B	A	<p>● ノーゲームデイを設定しているが、ネットやゲームの時間をコントロールできにくい児童もいる。家庭での保護者の協力が必要だが、難しい。</p> <p>● 安全指導をする際、「なぜそうするのか、それをしてはいけないのか。」十分説明できなかった。</p>	<p>☆ 当事者意識を高め、安全に生活しようとする態度が育つように、ルールの意味を児童に考えさせる。</p>
	安全指導の充実と工夫により、生命尊重の意識の高揚を図っているか。	A	A	A		
	児童の体力向上、健康管理に関する指導は充実しているか。	B	B	A		
安全・安心な学校づくり	校内外における見守り隊活動を始め、地域ぐるみの安全確保に取り組んでいるか。	A	-	-	<p>● 安全教育については、これで十分ということではなく、引き続き機会を見て繰り返し指導する必要がある。</p>	<p>☆ 9月に地震からの津波を想定した引き渡し訓練、12月に予告なしの避難訓練を実施する。</p>
	定期的な避難、防災訓練の実施により、児童や教職員の安全・防災意識を高めているか。	A	A	-		

特色ある学校づくり	「五つのシーン」（放送、読書、掃除、集会集合、集団下校集合）を児童に浸透させようとしているか。	A	—	—	● 集会時や集団下校時の集合など、全校が一斉に行動するときは、意識して静かに行動できるようになってきた。掃除への移動時がまだ徹底できていないので、2学期に力を入れていきたい。	☆ 「自分がしゃべらない」という意識を持てば、「シーン」が達成できることを児童に伝える。 ☆ 五つのシーンにおいて、教師自身の指示も極力減らす。
	総合的な学習の時間の充実を図り、「生きる力」の育成に努めているか。	C	—	—		
	豊かな体験活動により児童一人一人のまごころをはぐくみ、「心の教育」の充実を図っているか。	A	—	—		
教職員の資質導力の向上	校内研修を計画的・意欲的に行い、そこで得た成果や資料等を教育実践の場に生かしたか。	A	—	—	○ 研修通信の発行に取り組むことで、職員の意識統一を図るよう努めた。 ○ 研修通信が職員の資質向上につながっている。	☆ 今年度、授業実践をもとにした研修計画を立てている。2学期は、研究授業が続くので、計画的に校内研究を進めていきたい。
	社会人、組織人としての資質向上に努めているか。	A	—	—		
家庭・地域社会との連携	家庭訪問、電話、学級だより、連絡帳等を通して家庭との連携を密にし、信頼関係づくりに努めているか。	A	A	—	○ 学習予定表を毎週出し、それを日々確認することにより、家庭と密に連携を取ることができた。	☆ 保護者からの訴え等には関係教職員との報連相をしっかりと行い、迅速に対応することを継続したい。
管理運営の充実・その他	綱紀粛正と不祥事や事故の防止に努め、信用失墜行為の予防に努めているか。	A	—	—	○ 昨年度より帰宅時間が早くなった。効率的に業務を遂行するにあたり、他の先生方のやり方を聞き、教わる中で、自分に合った働き方を見つけた。 ○ 退勤時間を意識して勤務できている。 ● 事故の予防に努めているが、疲労しているときに注意力が散漫になる時があるので気を付けたい。	☆ 毎週水曜日は声を掛け合いながら、定時退庁を行う。
	心身の健康管理に努め、ワークライフバランスを考えた勤務時間に努めているか。	A	—	—		